

令和元年5月9日

教育記者クラブ 各位

岩手県立大学

馬耕復活プロジェクトの実施について

岩手県立大学では、(公財)全国競馬・畜産振興会の助成による「農耕馬のホースワーク可能性に関する実証事業」の一環として、滝沢市牧野林の駿河農園様の畑をお借りして「馬耕復活プロジェクト」を下記のとおり実施いたします。

つきましては、これを取材の上、報道くださいますようお願いいたします。

記

1 日時

令和元年5月13日(月)10:00～

※畑の馬耕が終わり次第、撤収予定。午前中は確実に作業に要する見込み。

2 場所

(1) 会場：駿河農園 畑(滝沢市牧野林971-2)

(2) 駐車場：ふるさと交流館 第二駐車場(砂利敷)(岩手県滝沢市土沢265-3)

3 講師

一般社団法人 馬搬振興会 岩間 敬(いわま たかし)氏

4 内容

農耕馬本来の仕事である馬耕について普及を図るため、農業者の田畑で馬耕の実証実験を行います。当日は馬耕体験も可能です。体験希望の方は長靴や汚れてもよい服装でご参加ください。

また、馬耕復活プロジェクトは年1回の間隔で行っていく予定です。貴重な機会ですので、ぜひご取材ください。

5 留意事項

- ・事前申し込みは不要
- ・少雨実施(大雨の場合は16日に延期)
- ・会場・駐車場間は徒歩7分程度の道のり
- ・事業、プロジェクトの詳細は別添資料を参照

【本件に関する問合せ先】 総合政策学部 教授 渋谷晃太郎 TEL:019-694-2746
E-mail: kshibuya@iwate-pu.ac.jp



公立大学法人
岩手県立大学
Iwate Prefectural University



日本中央競馬会
特別振興資金助成事業

馬耕復活プロジェクトの実施について (お知らせ)

岩手県立大学では、(公財)全国競馬・畜産振興会の助成による「農耕馬のホースワーク可能性に関する実証事業」の一環として、滝沢市牧野林の駿河農園様の畑をお借りし「馬耕復活プロジェクト」を下記の通り実施いたします。「馬耕」に興味・関心のある方は、ぜひご参加ください。

記

日時：令和元年5月13日(月)10:00~

場所：滝沢市牧野林971-2 駿河農園 畑 (別添地図参照)

講師：一般社団法人 馬搬振興会 岩間 敬 氏

馬耕復活プロジェクトの概要：サステイナブル(持続可能)な農業に向けて農耕馬による「馬耕」を復活するための実証実験を行います。農耕馬の仕事を増やし、農耕馬を存続させるもので、チャグチャグ馬コの継続にも資するものと考えています。

注意事項：少雨実施(大雨の場合は16日に延期します。)

会場の近場には駐車場がありません。ふるさと交流館 第二駐車場(砂利敷)の駐車場を借りてください。

- ・当日は馬耕体験もできます。体験希望の方は長靴、汚れてもよい服装でご参加ください。
- ・事前申し込みは必要ありません。当日、直接現地に来てください。



《参考》

「農耕馬のホースワーク可能性に関する実証事業」について

(1) 事業の目的

農耕馬は農業の機械化などにより農耕等の役割を終え、農林業に果たす役割は減少しつつあるが、最近では、林業における馬搬や有機農業における馬耕が見直されつつあり、存在価値が上昇しつつある。また、チャグチャグ馬コを代表とする馬事文化を継承するためには農耕馬は不可欠である。一方、畜産とともに成立していた安比のシバ草原は、放牧中止後急速に森林化が進み 1000 年を越える歴史に幕を閉じようとしている。安比シバ草原の再生、生物多様性の保全のためには農耕馬の再放牧が必要である。これらの新しいニーズに応えるためには農耕馬の持続的な頭数の維持・確保が必要であり、本事業は農耕馬の維持・増加に資することを目的とする。

(2) 主な事業内容

1. 草原再生事業 安比高原の半自然草原において農耕馬を借り上げ放牧し草原等の再生を新たな仕事として実施し生物多様性の保全を図る

2. ホースワーク推進事業

(1) ホーストレッキング等可能性調査事業

安比高原の半自然草原の放牧農耕馬を活用しホーストレッキングを行うとともに、都市公園等における馬車の運行、冬季の馬櫓運行、チャグチャグ馬コ等馬事文化事業への農耕馬の活用方策を検討し実証実験を行う

(2) 馬耕等可能性調査事業

農耕馬の本来の仕事である馬耕について、普及を図るため農業者の田畑で馬耕の実証実験を行う。また、農耕馬による山林や山岳部における資材の運搬等について可能性を検討し実証実験を行う

(3) 公共施設管理可能性調査事業

大学、都市公園等の公共施設で農耕馬を使った草刈り、放牧による除草の可能性を検討し、実証実験を行う

ホースワークとは：農耕馬は、本来の仕事である馬耕、馬搬のほかにも様々な仕事を行うことができる可能性がある。半自然草原の維持管理などの環境保全やおとなしく従順な性格を生かし、安全なホーストレッキングや都市公園の芝生の管理、ホースセラピーなど現代の生活様式に適應した様々な用途で活躍することが期待される。これらの仕事を現代版「ホースワーク」ということを遠野馬搬振興会の岩間敬氏が提唱している。一頭の農耕馬が多用途に仕事をするいわゆる「百姓馬」を育成し、それを操れる人材を育成することによって、農耕馬と人が持続可能に暮らせる場を確保し、地域に貢献しようとするものである。

連絡・問い合わせ先

岩手県立大学総合政策学部 教授 渋谷晃太郎

滝沢市菓子 152-52 電話 019-694-2746 Mail : kshibuya@iwate-pu.ac.jp